

会社概要

社 名	株式会社 アイ・トランスポート・ラボ
設 立	2000年10月
資 本 金	1,000万円
役 員	代表取締役 堀口 良太 取締役 大島 邦彦(社外) 取締役 森田 綽之 取締役 赤羽 弘和(社外)
事 業 内 容	道路交通シミュレーションを活用したコンサルティング 道路交通情報関連技術開発のコンサルティング 道路交通情報関連システム開発 道路交通実態調査・データ解析 道路交通シミュレーションソフトウェア販売 スマートフォンを利用した各種交通調査アプリの開発等

技術アドバイザー

桑原 雅夫・・・東北大学教授・東京大学名誉教授	尾崎 晴男・・・東洋大学教授
片倉 正彦・・・東京都立大学(現・首都大学東京)名誉教授	大口 敬・・・東京大学教授
森田 綽之・・・日本大学客員教授	吉井 稔雄・・・愛媛大学教授
赤羽 弘和・・・千葉工業大学教授	小根山裕之・・・首都大学東京教授

保有特許

特許第 3792172 号	渋滞情報の予測に関する技術	
特許第 4098526 号	インターネット交通情報を介して将来の交通需要を予測する技術	
特許第 4175944 号	プローブ車両の位置情報をマップに照合する技術	
特許第 4426253 号	ETC 等のアップリンク情報から高速道路の所要時間を予測する技術	
特許第 4673521 号	複数のビデオ映像から長い区間の車両挙動を精緻に推定する技術	
特許第 5214355 号	走行車両データから路面の3次元データを推定する技術	
特許第 5491104 号	トラフィックスコープ情報生成に関する技術	
特許第 5523886 号	オンライン交通管制シミュレーションでの突発事象対応に関する技術	他にも多数の特許を保有しています。

案内図

最寄駅

東京メトロ半蔵門線/都営新宿線/都営三田線:神保町駅(A5・A7出口)

東京メトロ千代田線:新御茶ノ水駅(B3b出口)

JR中央線/東京メトロ丸ノ内線:御茶ノ水駅



株式会社 アイ・トランスポート・ラボ

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-10 新駿河台ビル9階

電話 03-5283-8527 / FAX 03-5283-8528

<http://www.i-transportlab.jp>

20151001

COMPANY PROFILE



itle.
i-Transport Lab. Co., Ltd.

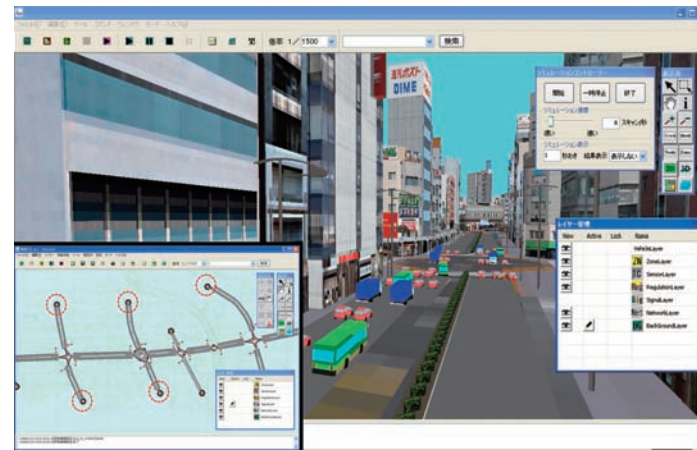
株式会社 アイ・トランスポート・ラボ

交通シミュレーター の制作・販売

東京大学生産技術研究所での研究をもとに、入力データ作成機能やアニメーション機能、結果表示機能などをパッケージ化した商用ソフトウェアです。広域向けのSOUNDと、街路向けのAVENUEの2種類をご用意しています。



広域道路網交通流シミュレーション **SOUND**

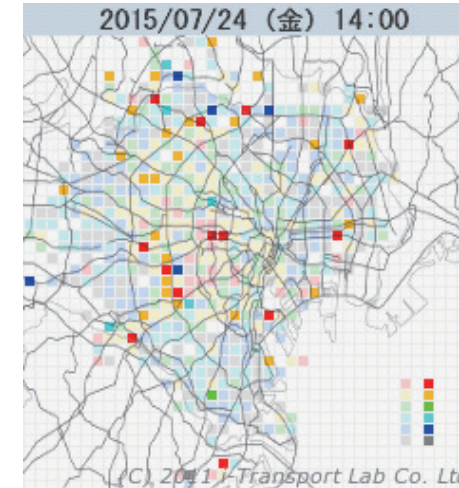


街路網交通流シミュレーション **AVENUE**

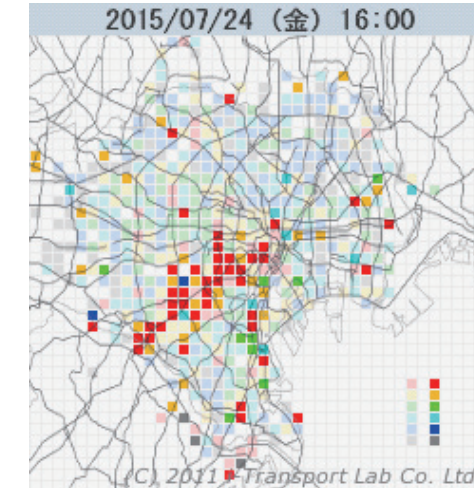
※詳細は別途製品リーフレットをご覧ください。

トラフィックスコープ の開発

「トラフィックスコープ」とは、都市スケールでの道路混雑状況が一目で把握できるよう、1～2km四方のメッシュ毎に、その中の平均的な混雑状態を表示すると同時に、統計的に特異な状態をハイライトして可視化するITL独自の技術です。

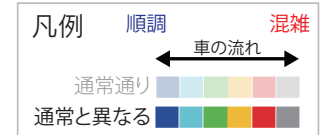


平常時



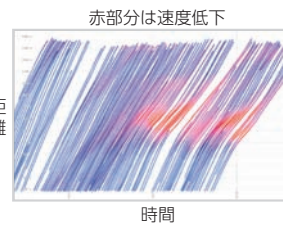
ゲリラ豪雨発生後

※特許第 5491104 号



※2015年7月24日15時頃発生
のゲリラ豪雨時の都心部における
道路の混雑状況

交通データの分析



※特許第 4673521 号

複数のビデオカメラ映像による時空間連続車両挙動推定

MESSAGE FROM **itl**

私たちは、交通工学の分野で研究に携わる大学研究者が出資して設立された、道路交通に関するコンサルティングやソフトウェア研究開発を業務とする、大学発のベンチャー会社です。

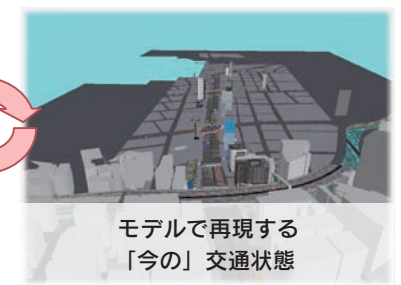
交通シミュレーションや交通情報ビジネスにおける専門性の高さを活かし、この分野でのスペシャリストとして多くの皆様のお役に立てる技術をビジネスとして具現化しつつ、都市環境や地球環境の改善に貢献していくことが、私たちの理念です。

ナウキャストシミュレーションの開発

部分的観測データから全体の交通状態を再現

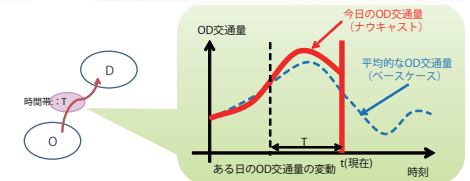


様々なセンサーで観測した
「今の」交通状況



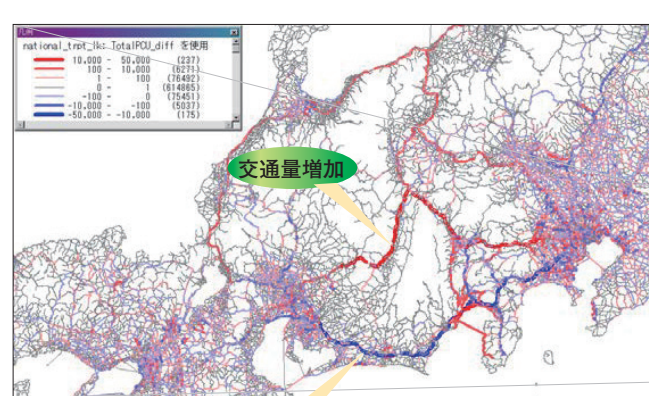
モデルで再現する
「今の」交通状態

両者の状態が整合するように
シミュレーションの諸条件を
逐次調整

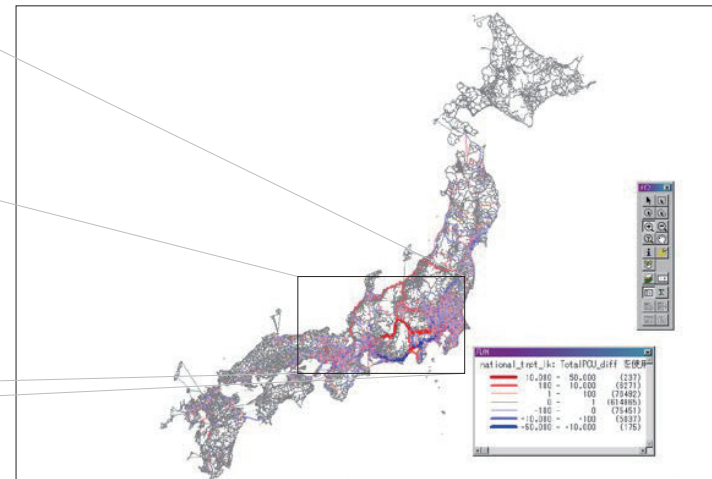


大規模交通シミュレーション 実用化に向けた研究

仮想空間上に日本全国を網羅した道路ネットワークを再現し、車1台1台が交通状況を判断し、走行します。これにより、交差点レベルの渋滞から、日本全国の車の流れまで把握できるようになります。



東名高速道路通行止め時の影響評価



主な業務実績

これまでに、国土交通省、経済産業省、各種社団・財団法人、ゼネコン、建設コンサルタント、自動車メーカー、カーナビメーカー、信号機メーカーなど、幅広い分野のお客様から業務を受託しています。

●交通シミュレーション業務

- ・交通シミュレーションを用いた新規道路開通効果の分析
- ・交通シミュレーションを用いた交差点立体交差化の検討
- ・交通シミュレーションを用いたITS車載器普及による渋滞削減・環境負荷削減効果の検討
- ・住宅地における通過交通の排除・速度低下対策効果の検討
- ・大規模災害時を想定した交通シミュレーションの実施
 - 避難行動計画に基づいた状況の再現
 - 交通規制を実施した際の影響評価
 - 災害によって通行不能となった場合の影響評価
- ・都市内高速道路の料金施策に基づく交通シミュレーションの実施
- ・事故による通行止めを想定した交通シミュレーションの実施
- ・イベント実施による通行止め・車線規制を仮定した交通シミュレーションの実施
- ・高速道路サグ部における影響を考慮した交通シミュレーションの実施
- ・エコカー導入効果の評価を目的とした交通シミュレーションの実施
- ・軌道系・物流関係シミュレーターの開発
- ・交通シミュレーションマニュアルの策定

●プローブデータ分析業務

- ・バスプローブデータの分析
- ・プローブ情報の推定処理

●交通情報関連業務

- ・交通情報提供サービスのコンサルティング
- ・事業者向け道路交通情報システムの開発
- ・交通情報提供の評価

●その他

- ・映像を用いた車両挙動分析
- ・交通事故の要因分析

など